



タッチザジャパン開催実績レポート

2015～2022

■主催者プロフィール■

一般社団法人国際観光文化推進機構

Int'l Tourism & Culture promotion Organization(ITCO)

概要

■設立 2015年7月16日

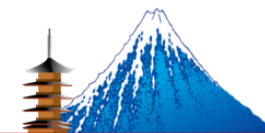
■目的 観光と文化の紹介を通して日本と世界の交流を促進し、日本の観光産業と文化産業の発展に寄与する。同時に日本と世界の友好の樹立に貢献する。

■代表者メッセージ

《観光とは知識の交差であり、知性が築き上げた文化の迎合です。世界の人々が異国の人々に、その文化に、直接触れ合い、共鳴し、感動し、敬意を抱くことが、友好の樹立を可能にすると信じます。私たちは現代のボーダレスなデジタル社会において、直接的な人と人との触れ合いと感動の共有を大切にした、新しい展示会・博覧会方式による世界交流を推進して参ります。》

■代表理事兼総合プロデューサー安藤俊介プロフィール

福岡県出身。香港の英字出版社、大手ゲームメーカー、大手総合広告代理店を経てプロデューサーとして独立。イラン国営航空、パンアメリカン航空、コンチネンタル航空、ノースウエスト航空、ハワイ政府観光局、グアム政府観光局などのアビエーション&ツーリズムマーケティングを数多く手掛ける。1990年～1998年にはグアム州知事特命日本代表を務め、グアムへの日本人観光客100万人超の達成に貢献する。2008年9月には作家としてノンフィクション小説「もし風が見えるなら」をポプラ社から上梓。現在は設立した（一社）国際観光文化推進機構の代表理事兼総合プロデューサーとして台湾でのタッチザジャパン観光文化展覧会事業に注力している。2025年からは日本国内及び欧米圏へタッチザジャパン観光文化展覧会の暫時拡大を予定している。



■組織

名誉理事： 加納國雄（元香港政府観光局日本代表、元愛知県初代観光局長）、林葉亭（台湾の現代ファッションリーダー、TVキャスター、実業家）、大井泰裕（国際医療支援サービスの日比谷インベストメント株式会社代表取締役社長）、勝谷圭子（一般社団法人キャリアブランディング協会理事長）、平田静子（株式会社ひらたワークス代表）、野間自子（三宅坂総合法律事務所共同パートナー、弁護士）、下村昇治（下村奥村税理士事務所代表社員）

■相互協力

中華民國旅行業品質保証協會、中華民國旅行商業同業公會全國聯合會、中華民國旅館商業同業公會、台北市旅行商業同業公會、上聯国際展覽有限公司、大通国際展覽有限公司、綺羅国際展覽有限公司、啟示整合行銷團隊、旅奇整合行銷集團、蘇州旅游組合、蘇州国際旅游博覽会、蘇州賽騰シルク展示会社、賢者の選択リーダーズ倶楽部、（一社）世界コスプレ文化普及協会、ミス・ワールドジャパン事務局、日比谷インベストメント株式会社、サンクス株式会社、株式会社プロフィットユウ、株式会社フォーシスアンドカンパニー

■これまでの開催実績■

◆2015年4月17日～20日

台湾最大の日本の単独観光文化展覧会「第1回タッチザジャパン～あなたの触れたい日本がきっと見つかる～」を台北にて開催

会場：台北花博公園「総艶館」 出規模：85団体、169ブース 動員：4日間4万人強 メディア露出：300件以上

◆2016年7月15日～18日

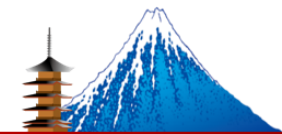
「第2回タッチザジャパン観光文化展覧会」を台北にて開催

共同開催：台北国際夏季旅展（STE） 会場：台北世界貿易センター1号館 出展規模：70団体、170ブース 動員：4日間25万人強 メディア露出：300件以上

◆2017年8月25日～28日

「第3回タッチザジャパン観光文化展覧会」を台北にて開催

共同開催：台湾国際旅游展（TITE） 会場：台北世界貿易センター1号館 出展規模：77団体、148ブース 動員：4日間26万人強 メディア露出：300件以上





◆2018年4月5日～7日

「第1回蘇州国際旅游展に参画し、メインステージの制作と演出を協力、同時に8Kワイド映像ショー「美しき日本」を上映し、日本のアイドルユニット「STARMARIE」の実演をプロデュースする。同時にタッチザジャパンブースを展開し日本への観光をアピールする。

共同開催：蘇州国際旅游博覧会 会場：蘇州国際博覧センター 動員：3日間10万人強 メディア露出：100件強

◆2018年8月24日～27日

第4回タッチザジャパン観光文化展覧会を台北にて開催

共同開催：台湾国際旅游展 (TITE) 出展規模：70団体138ブース 会場：台北世界貿易センター1号館 動員：4日間27万人強 メディア露出：テレビを中心に300件以上

◆2019年8月23日～26日

5周年記念第5回タッチザジャパン観光文化展覧会を台北にて開催

共同開催：台湾国際旅游展 (TITE) 会場：台北世界貿易センター1号館 出展規模：80団体140ブース 動員：4日間27万人以上 メディア露出：500件以上

◆2020年～2021年

コロナウイルスパンデミックによる世界的出入国規制の為開催中止

◆2022年10月21日～23日

台湾ではジャパノスの声が大きく何らかの日本展覧会の開催が必要と判断し、コロナによる出入国規制下ではあったが自主開催で日台友好をテーマにミニ展覧会【タッチザジャパンフェスティバル】を台北市華山1914にて単独開催。多くの台湾旅行業協会そして台北市長のご臨席を頂き、日本そして台湾から41団体81ブースのご参加を頂いた。

◆2023年はコロナ収束後のインバウンド客のおもてなし対応準備の年となり、さらなる誘致拡大の為の海外活動の本格的な復活準備の年となった。その為2023年は開催を断念し、2024年がタッチザジャパン観光文化展覧会開催10周年の節目となることから、台北世界貿易センター1号館にて、2024年7月12日～15日、【10周年記念タッチザジャパン・スペシャル】の大規模開催を決定した。

